

皮膚科学

責任者：教授 天野 博雄

学習方針（実習概要等）：

皮膚科では、皮膚・皮膚粘膜移行部・粘膜を診察する。アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎をはじめとする湿疹・皮膚炎群、血管炎、膠原病、乾癬、水疱症、皮膚感染症などの炎症疾患から悪性黒色腫・有棘細胞癌・基底細胞癌・血管肉腫などの悪性腫瘍、皮膚良性腫瘍に至るまで、幅広い疾患の診断と治療を行う。また、美容皮膚科も扱う。これらの疾患について基本的な事項について知識を習得することを目標とする。

教育成果（アウトカム）：

皮膚疾患に対応するためには、内科学・外科学・病理学・微生物学・免疫学・その他の広範な知識、さらに倫理的概念や医師としての基本的態度、協調性が必要である。これらを習得することで、皮膚科が心身を包括的に診ることが必要な診療科であることを理解し、General physician に求められる皮膚科診療の基本事項をマスターすることができる。

（ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,7）

到達目標（SBOs）：

- *1. 病歴で診断のおおよその見当がつけられるような問診ができる。
- *2. 発疹学の用語（原発疹、続発疹）を使って皮疹の記載ができる。
- *3. 病歴と現症から鑑別疾患を挙げることができる。
- *4. 皮膚の診察法（硝子圧法、皮膚描記法、Auspitz 現象、Nikolsky 現象、Darier 徴候、Köbner 現象など）を体験・理解し説明できる。
- *5. 皮膚の検査法（真菌鏡検、皮膚生検、パッチテスト、発汗テストなど）を体験・理解し説明できる。
- *6. 皮膚科治療（軟膏療法、創傷処置、光線療法、凍結療法、手術、レーザー治療など）を体験・理解し説明できる。
- *7. 皮膚科救急処置（熱傷、蕁麻疹、蜂刺され、ショックなど）につき述べることができる。

特に留意すべき注意事項：

1. 患者さんが不快になる態度・身なりは厳に慎むこと。私語、腕組みや足組み、白衣のポケットに手を入れる、白衣のボタンをかけない、など。
2. 患者さんに自己紹介をして、きちんと挨拶ができること。
3. 教科書を持参すること。
4. ポリクリ実習は担当医師の都合により時間を変更することがある。予め、担当医師に問い合わせること。また、指導医とは緊密に連絡をとるようすること。

5. 実習内容は以下のとおり行う。

- (1) 外来で新患患者の予診をとり、病歴・所見の取り方、鑑別診断の考え方を実地で学ぶ。症例に応じて、皮膚生検・パッチテストなどの検査にも参加する。
- (2) 入院患者を一人受け持って、担当医の指導のもと手術や処置に参加する。毎週水曜日の教授回診でプレゼンテーションを行う。
- (3) 医局の症例検討会、その他の抄読会など勉強会に参加する。

事前学修内容および事前学修時間：

シラバスに記載されている各実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行い、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技について再確認をすること。また、実習前にeポートフォリオ（WebClass）「日々の振り返り 今日目標」にて、事前学修内容を踏まえた自己到達目標を設定し実習へ臨むこと。各実習に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全実習に対して該当するものとする。なお、適宜eポートフォリオ（WebClass）を通し個人に対する実習のフィードバックを行う。実習では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。事前に以下の事項について復習、修得しておくこと。（以下は医学教育モデル・コア・カリキュラム-教育内容ガイドライン-の皮膚科に関連する項目の抜粋、一部改変である。）

修得すべき事項

1. 皮膚の構造と機能

- 皮膚の組織構造を図示して説明できる。
- 皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。
- 皮膚の免疫防御能を説明できる。

2. 診断と検査の基本

- 皮膚検査法(硝子圧法、皮膚描記法(Darier 徴候)、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト)を概説できる。
- 皮膚アレルギー検査法(プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト)を説明できる。
- 微生物検査法(検体採取法、苛性カリ(KOH)直接検鏡法)を概説できる。

3. 症候

- 原発疹、続発疹について概説できる。

4. 疾患

(1) 湿疹・皮膚炎

- 湿疹反応を説明できる。
- 湿疹・皮膚炎の疾患(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎、脂漏性皮膚炎)を列挙し、概説できる。

(2) 蕁麻疹、紅斑症、紅皮症、皮膚癢痒症

- 蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。
- 多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。
- 皮膚癢痒症の病因と病態を説明できる。

(3) 紫斑・血流障害、血管炎

- 皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。

(4) 薬疹・薬物障害

- 薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。
- 薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。

(5) 水疱症、膿疱症

- 自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。
- 膿疱症の種類と病態を説明できる。

(6) 角化症、炎症性角化症

- 魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。
- 尋常性乾癬、扁平苔癬の病態、症候と治療を説明できる。

(7) 皮膚感染症

- 皮膚細菌感染症(伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)を列挙し、概説できる。
- 皮膚真菌症(表在性、深在性)の症候と病型を説明できる。
- 皮膚結核の症候、病型と病因菌を説明できる。
- 梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。
- 皮膚ウイルス感染症(単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘)を列挙し、概説できる。
- 後天性免疫不全症候群(AIDS)に伴う皮膚症状を列挙し、概説できる。

(8) 母斑・腫瘍性疾患・腫瘍

- 母斑・母斑症の種類を列挙できる。
- 皮膚良性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。
- 皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。
- 基底細胞癌の皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
- 有棘細胞癌の皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
- 悪性黒色腫の皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。

(9) 付属器疾患

- 毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。
- 爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。

(10) 物理・化学的因子による疾患

- 熱傷面積(9の法則)と深(達)度から熱傷の重症度を説明できる。
- 熱傷の治療方針を概説できる。

第4・5学年臨床実習スケジュール[皮膚科学]

指導医師名：①天野博雄教授 ②渡部大輔准教授 ③角田加奈子講師 ④渡辺綾乃講師 ⑤三浦慎平講師

| 曜 | 1時限 | 2時限 | 3時限 | 4時限 |
|---|--|------------------------------------|--|--|
| 月 | オリエンテーション (初日) 外来実習・病棟実習 [場所] [指導医] [外来・病棟] ②⑤ | 外来実習 外来実習・病棟実習 [外来・病棟] ②⑤ | 皮膚の基本構造と皮膚病理 [病棟] ②⑤ | 皮膚の基本構造と皮膚病理 [病棟] ①②③④⑤ |
| 火 | 外来実習 手術見学 [場所] [指導医] [外来・手術室] ①②③④⑤ | 外来実習 手術見学 [外来・手術室] ①②③④⑤ | 手術見学・病棟実習 [手術室・病棟] ②③④⑤ | 手術見学・病棟実習 [手術室・病棟] ②③④⑤ |
| 水 | 病棟実習 [場所] [指導医] [病棟] ③④⑤ | 病棟教授回診 [医局・病棟] ①②③④⑤ | 術前カンファランス/ 症例検討会・抄読会 [医局] ①②③④⑤ | 症例のまとめ・褥瘡回診 [医局・病棟] ②③④⑤ |
| 木 | 外来実習 手術見学 [場所] [指導医] [外来・手術室] ②③④⑤ | 外来実習 手術見学 [外来・手術室] ②③④⑤ | 手術見学・病棟実習 [手術室・病棟] ③④⑤ | 手術見学・病棟実習、 口頭試問 [手術室・病棟・医局] ①②③④⑤ |
| 金 | 外来実習 [場所] [指導医] [外来] ③④⑤ | 外来実習 [外来] ③④⑤ | まとめ・評価 [医局] ③④⑤ | まとめ・評価 [医局] ③④⑤ |

(外来、医局・病棟・手術室：矢巾附属病院)

授業に使用する機械・器具と使用目的

| 使用区分 | 使用機器・器具等の名称 | 台数 | 使用目的 |
|--------|--------------------------------|----|------------------------------|
| 診断用機械 | 顕微鏡 | 4台 | 皮膚病理標本の観察、真菌検査等 |
| 視聴覚用機械 | スライド映写機 | 2台 | 症例の供覧、学生の症例発表等。 |
| 診断用機械 | 紫外線照射装置 | 3台 | 種々の炎症性角化症、悪性リンパ腫などの疾患治療に用いる。 |
| 診断用機械 | パッチテスト試薬器具一式 | 一式 | 接触皮膚炎、薬疹や金属アレルギーなどの診断に用いる。 |
| 診断用機械 | 液体窒素 | 1台 | 疣贅の治療に用いる。 |
| 診断用機械 | 真菌検査用具一式 | 一式 | 白癬、カンジダ症などの真菌治療の診断に用いる。 |
| 診断用機械 | 硝子圧など | 一式 | 紅斑、紫斑の鑑別に用いる。 |
| 診断用機械 | レーザー照射装置 | 1台 | しみ、皺など皮膚の美容治療に用いる。 |
| 視聴覚用機械 | PC 一式 (PowerMacG5) | 2台 | 臨床実習講義用スライド作成 |
| 視聴覚用機械 | ノート型 PC (PowerBookG4) | 1台 | 臨床実習講義用スライド作成 |
| 診断用機械 | 密閉式水分蒸発量測定器 (H4300-S) | 1台 | 臨床実習における皮膚生理機能測定実習 |
| 視聴覚用機械 | デジタル一眼レフカメラ (EOS-10D) | 1台 | 臨床実習講義用スライド写真撮影 |
| 視聴覚用機械 | PC 一式 (M9249J/A) | 1台 | 臨床実習講義用スライド作成 |
| 視聴覚用機械 | 一眼レフ対応ダーマフォトモジュール | 1台 | 臨床実習講義用スライド写真撮影 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン (インスパイロン 6000 インテル) | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | コスメテックレーザーシステム一式 (キュリア PLUS) | 1台 | 美容皮膚学における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | 複写機 (imagioNEO C455/75) | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | パソコン (iMacG5) | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン一式 (PAVX570LS) | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | パワーステーション 1000VC (AE-8450) | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | パソコン (MacBookPro15.4Inch) | 1台 | 臨床スライド画像作成 |
| 視聴覚用機械 | 顕微鏡デジタルカメラ (DP70-SET) | 1台 | 病理スライド画像作成 |
| 視聴覚用機械 | 超音波皮膚皮下組織計測装置解析装置 (DermaScanC) | 1台 | 臨床実習における腫瘍症例検討 |
| 視聴覚用機械 | パソコン (VAIOtypeUVGN-UX70) | 1台 | 皮疹画像記録用 |
| 視聴覚用機械 | パソコン (2.0GhzIntelCoreDuo) | 1台 | 皮疹画像記録用 |

| 使用区分 | 使用機器・器具等の名称 | 台数 | 使用目的 |
|--------|--|----|---------------------|
| 視聴覚用機械 | 超音波皮膚皮下組織計測装置 (DermaScanC スキャニング本体) | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | フィルムスキャナ- (ケルスカン 9000ED) | 1台 | スライド (症例) 資料の学生への提示 |
| 視聴覚用機械 | 倒立顕微鏡 (CKX41N-32PH) | 1台 | 水疱症標本の学生への提示 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン一式 (Mac2.16GHz) | 1台 | 臨床実習の症例提示 |
| 視聴覚用機械 | パソコン一式 (MA876J/A) | 1台 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | フィルム収納箱 (KJ-0147-01) | 1台 | 臨床実習の症例提示用 |
| 視聴覚用機械 | デジタルカメラ (DSCT200) | 1台 | 講義・実習用スライド写真用 |
| 視聴覚用機械 | デジタルカメラ (1030SW) | 一式 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | デジタルカメラ (EOS40D) | 1台 | 〃 |

教科書・参考書等：

- ・ 皮膚科カラーアトラス第3版 臨床像と組織像 石川 治 編著 中外医学社 2017
- ・ 新しい皮膚科学第3版 清水 宏 中山書店 2019
- ・ 皮膚病アトラス5版 西山茂夫

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 知識：15 点
2. 態度：30 点
3. 技能試験：20 点
4. ポートフォリオ：20 点
5. 指導医評価：15 点